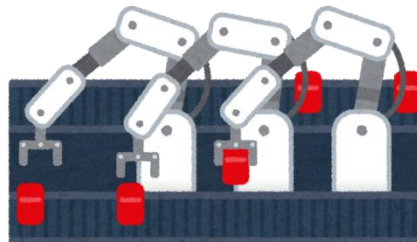


# 丸協にゆーす

- 丸協topics 「岡崎所長ってどんなひと？」
- 今、知っておきたい物流topics  
「物流施設の機械化・自動化へのニーズは高まっている」



## 岡崎所長ってどんなひと？



年齢：69歳

社歴：47年2ヶ月

丸協にとって初めての大型ドライバーとして入社。後に丸協初のトレーラードライバーにもなった。

配送中の事故により大型ドライバーを降りることになったが現在でも大型に乗りたい気持ちはあるとのこと。

### • 入社当時の丸協について

当時は保有車両は2t・4tトラックを10台ほど、大阪本社では社員6名で配車や事務作業を行っておりました。その後東京・広島・九州へ進出し事業を拡大していきました。四国は愛媛県の松山に営業所がありましたが、仕事で立ち寄っては寝食をお世話になりました。

47年間勤めてましたが本当に良い会社。渡部司前会長には怒られたことはありません。丸協が好きで、会長が好きで、トラックが好きだったからこそ今日まで勤め続けることが出来ているんだと思います。入社当初から仕事は楽しくて仕方ありません。楽しいからこそ、丸協も会長も好きになりました。楽しくなければ途中で辞めていたと思います。

### • ドライバーのやりがい

入社時は中四国・九州地方への配送は高速道路が無かったので、国道をひた走っていました。北海道～九州まであらゆる場所へ配送しました。時間はかかっていましたが楽しかったです。お客様の想いを届けるために走っていることが誇らしく楽しかったです。普段行かない土地へ行く楽しみもありました。

## ・ 丸協のみなさんへメッセージ

大阪営業所には真面目な従業員・ドライバーばかりで、どこに出しても恥ずかしくないと思っています。ドライバー・事務職関係なく男性陣には強くたくましくなって欲しいですね。

丸協の運転手＝お客様から荷物を預かって走っている“ラストアンカー”です。共配であれば、何十件ものお客様の荷物を積んで走っています。走っているドライバーはそのお客様一件一件の顔になって運ばなければいけない。お客様・商品を大事にするドライバーに育てて欲しいです。

倉庫はただ出荷・保管すれば良いと思っているだけでは誤出荷や破損に繋がってしまうので、お客様から預かっている荷物は“自分の荷物”として取り扱うこと。

事務職は電話対応、書類の処理など、お客様に誠心誠意応えること。

会社からお給料を頂いているが、元をたどればお客様から頂いている。丸協を信頼して頂いているからこそ仕事を任せて頂いていることを忘れないでください。

必要なときに必要な荷物をお客様は待っている。破損や紛失は弁済しても信用はどんどん落ちていく。

“ラストアンカー”がしっかりしないとお客様はいなくなる。

他にも物流企業はあるが、長年丸協に勤めている人は丸協が良いと思って勤めているのだと思います。

丸協運輸ほど楽しくやりがいのある物流企業は無い。だから私も47年も続いている。

丸協の礼儀正しい良いところはずっと続いて行って欲しいですね。

# 今、知っておきたい物流topics

## 物流施設の機械化・自動化へのニーズは高まっている

物流施設の利用企業336社を対象に行った調査で、6割の企業が「移転または増設」を計画しています。それらの企業では「面積を増やす」「拠点数を増やす」が多数派です。

ドライバー不足が見込まれる中、嫌われがちな長距離輸送を減らすためには拠点数を増やすのは対策として有効です。

この調査では、**輸送・配送費、人件費**が「今より上がる」とする回答が9割を超えており、これを抑制するための対策が必須となります。期待されているのは**機械化・自動化等**のテクノロジーの利用です。

これにより倉庫内の作業者が減る効果があると想定されていますが、これは今いる作業者を削減するのではなく、自然減により必要な作業力を確保できなくなるのを補う効果があると言えます。

資料：ロジスティクス・ビジネス2020年10月号

